

つたがしのミニネットワーク

ミニネ7
No.32

子どもの音読の声を大きくさせる方法

国語の教科書の音読をペアで練習させることがあります。交代で「」までの一文を読んでいくのですが、普通は相手のすぐ横で音読します。お互いの距離は数十cmとあったところでしょう。

これでは大きな声でなくても相手に聞こえてしまうので、いつまでたっても声が大きくなりません。

そこで次のような工夫をします。

① 起立したらお互いに向き合って1mほど離れる。

こうすると、小さな声では横のペアの声に邪魔され、よく聞こえない状況になります。すると自然に大きな声を出して読むようになります。

つまり、ペアの距離を広げることで伝え合う声の大きさを大きくしていくのです。こ

のほかに次のようなバージョンもあります。

- ② 教室の端と端
- ③ 廊下の端と端
- ④ 体育館の端と端
- ⑤ 運動場の端と端

それぞれかなり大きな声が飛び交いますので、ほかのクラスの邪魔にならないように留意しましょう。



イラスト | 吉田朋子